

たんぽぽだより

子どもつだよりNo. 344 (2018年9・10月)号
2018年8月31日 発行

島根県立図書館 こどもつ 〒690-0873 松江市内中原町52 TEL (0852) 22-5746



島根県立図書館イメージキャラクター
ぶっくまくとしおりちゃん

◆ リストを配布中です！

今年度も、『おすすめしたいこどものほん』を選定し、6月に乳幼児向けと小学生向けの2種類のパンフレットを制作しました。県内の小学校・幼稚園、保育所のほか各市町村の読書施設に配布しましたが、県立図書館ではこどもつに常備していますのでご自由にお持ち帰りください。また、県立図書館のホームページからPDFファイルのダウンロードができます。

2018年度 おすすめしたい こどものほん

◆ こんなふうを選定しています！

最近刊行された本として掲載するのは、前年の1月から12月に出版された本が対象です。児童書の書評誌のうち『こどもとしゃかん』『こどもと読書』『こどもの図書館』『こどもの本棚』を参考にしています。これらの4誌で書評が掲載されるとその本を複数の職員で読み、おすすめする優先順位を検討します。毎年5月ごろには、おすすめの本が決まります。また、長く読み継がれた本についても入手の可否や価格の変動をふまえて最新情報に更新します。なお、書評が掲載された本のリストも県立図書館のホームページで閲覧・ダウンロードすることができます。

～県立図書館は建築50周年～

◆ 子ども向け推薦図書リストの歴史

島根県立図書館による
推薦図書リスト第1号

1978 昭和53年
おすすめしたい
こどもの本100選
幼児から小学生までを対象にした
100タイトルをあらすじとともに紹介

1984 昭和59年
おすすめしたい
こどもの本
過去3か年以上継続して推薦した図書の
リストや「じのないえほん」「郷土を知ろう」といったテーマでも本を紹介

1985 昭和60年
おすすめしたいこどものほん …①②
おすすめしたい子供の本 …③
この年からリストを①幼児前期向け
②幼児後期向け③小学生向けの3種類
に分けて発行。小学生向けには「学習
の参考になる本」も掲載

2014 平成26年
おすすめしたい
こどものほん
平成26年からは2種類のリストを発行。
試行錯誤を重ね、現在は「乳幼児向け」「小
学生向け」として発行。

こんです。
あたらしいふくを
つくってもらったよ！



2018年度 まだまだ おすすめしたい こどものほん

パンフレット
では内容を紹介
しきれなかった
本たちです。

幼児向け絵本

『いたずらおばけ イギリス民話』
瀬田貞二/再話
和田義三/画
福音館書店
マイペースな
おばあさんに、
おばけもたじ
たじ。ゆかい
なお話です。

『いえすみねずみ』
ジョン・バーニンガム/作・絵
谷川俊太郎/訳 BL出版
大人はねずみと同じ家に住む
のをいやがります。子どもは
ねずみに危険を知らせます。

『ほんときこうの日』 レイン・スミス/作
青山南/訳 BL出版
表紙は、目を閉じてうっとりとした花の香りを
楽しむまさん。ほのほのとしたお話かと思
いさや……。こんな人、いるいる！

小学生向け いろいろなことを知る本

『すごいぞ！ニッポン美術』 結城昌子/文
西村書店
日本の素晴らしい
美術作品を、直感的
なフレーズとともに
鑑賞する本。大人も
一緒に楽しめます。

『珍獣ドクターの
ドタバタ診療日記』
田向健一/著 ポプラ社
動物病院でのエピソード
を通じ、命の大切さを訴
えます。子どもたちへの
エールもちりばめられて
います。

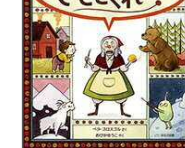
小学生向け文学 (中～高学年)

『ひいな』 いたうみく/作
小学館



思いがけず
お難さまの声
が聞こえるよ
うになった由
良。次第に本
当の自分を見
つけていきま
す。

『しずかにあみもの
させとくれー！』
ベラ・プロスゴル/さく
おびかゆうこ/やく
ほるぶ出版



30人の孫が、くまが、やぎが、
宇宙人(?)が、おばあさんを
邪魔します。そんなに編んで
どうするの？ 温かいイラスト
シーンが印象的です。



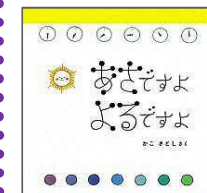
『このあいだになにがあった？』
佐藤雅彦+ユーフラテス/さく
福音館書店

時系列に撮った3枚の写真の
うち、2枚目は次のページで
確認できます。一体、どんなこ
とが起こったのでしょうか？

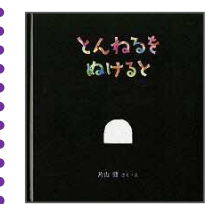
あかちゃん絵本



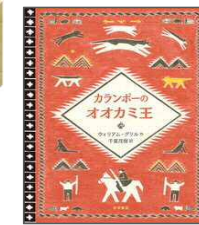
『くまさん』
まどみちお/詩
ましませつこ/絵
こぐま社
冬眠からめざめた
くまさんと、春の
喜び、生きる喜び。



『あさですよよるですよ』
かこさとし/さく
福音館書店
わいわいにぎやかな
豆の子どもたちの
一日をのそいで
みましよう。



『とんねるをぬけると』
片山健一/さく・え
福音館書店
電車に乗った子ども
たちが、トンネルを
ぬける度に変身！



『カランポーのオオカミ王』
ウィリアム・グレル/作
千葉茂樹/訳 岩波書店

『狼王ロボ』との出会い
が、シートンのその後の
生き方に変化を与えてい
ました。



『ぼくたち負け組クラブ』
アンドリュー・クレメンツ/著
田中奈津子/訳 講談社

“本虫”のアレック。読書
クラブを設立し、「負け組
クラブ」と名付けます。行
動する“本虫”のサクセス
ストーリー。

小学生向け文学 (低～中学年)



『グリムのむかしばなし I・II』
グリム/原作
ワンダ・ガアグ/編・絵
松岡享子/訳 のら書店

グリム童話をワンダ・ガアグ
の再話で味わうことができ
ます。Iに七つ、IIに九つ
のお話が収録されています。



『てんこうせいはワニだった！』
おのりえん作・絵 こぐま社
転校生として教室にやってきた
のはワニ。先生はなすすべも
ありませんが、子どもたちのアイ
デアでワニはクラスになじんでい
きます。

『アルバートさんと赤ちゃんアザラシ』
ジュディス・カー/作・絵 三原泉 訳 徳間書店
親を殺された赤ちゃんアザラシをひきとって
アパートで育てるアルバートさん。夢のある
ストーリーを通じて命の重さも伝わります。

『図書館にいたユニコーン』
マイケル・モーパゴ/作 ゲーリー・ブライズ/絵
おびかゆうこ/訳 徳間書店
ユニコーンの像と司書のストーリーテリングに
魅かれ、図書館へ通い出した少年時代の回想。
情景がまざまざと目に浮かぶ、濃厚な一冊です。

『ピーおばさんとおでかけ』
ダイアナ・ウィン・ジョーンズ/作
野口絵美/訳 佐竹美保/絵 徳間書店
人の意見に耳を貸そうとしないピーおばさん。子
どもたちは仕方なく一緒に海へ。立入禁止の島で
災難に見舞われても、ピーおばさんは我が道を
まっくら。